愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	新實 広記	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」における幼児教育（保育）の基本的視点を理解したうえで、保育内容の5領域と造形活動の関連性について把握する。また、領域「表現」の中に造形活動がどのように位置づけられているか確認し、環境を通しての教育、遊びを通しての教育の２つの視点から子どもの造形活動の具体例や実践を学ぶ。 また、授業では実技を取り入れた講義を中心に行い、知識や技法を体験的に学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。ディスカッションおよびグループワークを取り入れ、子どもの造形、図画工作の意義を議論、研究する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション （授業説明、注意事項）	□
第2回	子どもの造形活動の具体例や実践の紹介（日本）	日本の子どもの造形活動の具体例や実践の紹介をスライドや映像で行う。	□
第3回	子どもの造形活動の具体例や実践の紹介（海外）	海外の子どもの造形活動の具体例や実践の紹介をスライドや映像で行う。	□
第4回	図書資料収集（表現としての造形活動）	表現としての造形活動に関する図書資料を収集する。	□
第5回	インターネット資料収集（表現としての造形活動）	表現としての造形活動に関するインターネット資料を収集する。	□
第6回	論文資料収集（表現としての造形活動）	表現としての造形活動に関する論文資料を収集する。	□
第7回	研究題材の発表	5週に渡って行ってきた、資料紹介、面談、資料収集から各自の研究題材をみつけ発表する。	□
第8回	作品製作もしくは論文作成の計画シート（面談）	各自の研究題材のテーマに沿って調査、研究を行い論文の作成や作品製作の計画シートの記入、面談をする。	□
第9回	作品製作もしくは論文作成の計画シート（完成）	各自の研究題材のテーマに沿って調査、研究を行い論文の作成や作品製作の計画シートを完成する。	□
第10回	作品製作もしくは論文作成の計画案発表	各自が研究題材のテーマに沿って行った調査、研究の計画案を発表する。	□
第11回	作品製作もしくは論文作成とグループ面談	各自の研究題材のテーマに沿って調査、研究、実践を行いグループ面談を交えながら論文の作成や作品製作を行う。	□
第12回	作品製作もしくは論文作成	各自の研究題材のテーマに沿って調査、研究、実践を行い論文の作成や作品製作を行う。	□
第13回	作品製作もしくは論文作成と個人面談	各自の研究題材のテーマに沿って調査、研究、実践を行い個人面談を交えながら論文の作成や作品製作を行う。	□
第14回	作品製作もしくは論文作成と発表練習	各自の研究題材のテーマに沿って調査、研究を行い発表練習も行う。	□
第15回	研究発表	これまでの研究の成果を論文もしくは作品で発表し、質疑応答に答える。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

これまでの調査・研究の成果をレポートもしくは制作物で示せるように準備しておく。（２時間） 授業内の面談を通して気づいた新たな研究課題を再調査する。（２時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

研究成果を報告するためのレポート課題を実施する。レポートの内容を確認後、より研究を深められるような自主学習の方法の提案や資料を提供する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	小学校教員・幼稚園教員・保育士になるための表現力、知識、能力を身につけ創造的に指導できるか。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	調査、実践研究を通して探究心と知識、表現力を身につけ、主体的に課題に取り組むことができるか。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	現代の保育、教育における様々な課題にこれまでの知識や経験を活かし改善できるか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習で取り組んだ研究のプレゼン発表を行う。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で、必要に応じて紹介する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で、必要に応じて紹介する	
2		
3		
4		
5		